

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
理学療法教育学特論	2単位30時間 (15コマ)講義科目	博士前期1年次 後期開講	<input type="checkbox"/> ・不可
科目責任者	李 相潤		
担当者	李 相潤、川口 徹、齋藤 圭介、諸橋 勇、福士 勇人		
<b>1. 科目のねらい・目標</b>			
近年、時代の変化に対応した理学療法を牽引できる専門性と総合力、研究能力を備えた質の高い高度専門職が求められている。本邦では高度な人材養成のための社会人学び直しや大学院プログラムを積極的に導入し、社会人のキャリアアップを推奨している。本授業では特色ある大学院プログラムとして、理学療法における臨床と研究の側面から、より専門的かつ幅広い知見を習得し、リハビリテーション分野における高度な人材養成を図る。			
<b>2. 授業計画・内容</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理学療法科学特論 (李)</li> <li>2. 理学療法における大学院教育のあり方 (李)</li> <li>3. 世界の理学療法教育の現状 (李)</li> <li>4. 生涯学習と理学療法 (川口)</li> <li>5. 理学療法士の卒後教育 (川口)</li> <li>6. 理学療法士の職場管理教育 (川口)</li> <li>7. アクティブラーニングの基礎 (諸橋)</li> <li>8. 運動学習への応用 (諸橋)</li> <li>9. 臨床実習教育と患者教育 (諸橋)</li> <li>10. 理学療法におけるキャリア教育 (齋藤)</li> <li>11. 職域多様化・高度化と職場教育 (齋藤)</li> <li>12. 理学療法教育分野での研究課題について (齋藤)</li> <li>13. インストラクショナルデザイン (福士)</li> <li>14. ARCS モデル (福士)</li> <li>15. 学習と成長 (福士)</li> </ol>			
<b>3. 教科書、参考書</b>			
特に定めない。必要に応じて資料を配付し、書籍を提示する。			
<b>4. 成績評価方法</b>			
授業への参加度 (60%)、討論や質疑応答 (20%)、レポート等 (20%) により総合的に評価する。			
<b>5. 受講要件</b>			
理学療法士免許を有すること			
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b>			
土日祝日開講、夏期集中講義など相談に応じる。また、授業は対面とオンラインを用いる。			
<b>7. その他</b>			
・オンデマンドは実施しない。			